

苦東環境コモンズの
活動をまとめて報告



NEWS LETTER

～ コモンズの現地から発信する～

勇払原野のSPIRIT

コモンズの視線

「勇払原野の spirit」第4号をお届けしました。春はそれまでの「苦東ウディーズ」の木こりモードから作業内容が一転します。まず冬に除伐した材の有効利用を始めるために広場に集めて玉切りし、今度は「薪組合」が中心になって割って、積みます。ケアセンターでは、キノコの菌も植えました。また、小屋の階段の補修とベンチなど、憩える環境作りも本格化しました。さらに植栽試験地とハスカップサンクチュアリのアクセス、風倒跡地のエコミュージアムへのアプローチも荒地を返上、道らしいいでたちに替え、来年度の事業に橋渡しします。

そして夏のメインは大島山林や小屋の広場とフットパスの壮絶な刈り払いです。環境保全と利活用の前段と基礎部分は、まずこうした荒廃からの脱却、つまり修景ですが、面積と延長が桁違いなだけに、作業に追われる現状です。しかし、作業はある種、快感を伴う媚薬的なもので、お金を払ってでも経験すべき修行みたいなものだと思って出かける週末です。あなたもいかがですか？（草）

4月からの活動報告

当NPOの活動でちょっと変わっている点は、合同作業のほかに都合のいい日に出かけて好きな時間作業ができること。場所と作業の段取りがわかっているからこそ、可能なことです。人間一馬力はわずかですが、集まればそこそのパワーに。春からの営みを写真入りでざっと紹介します。

~~~~~  
4/30 ほだ木の駒うち作業 4 (4/23 が延期)



5/03 薪祭り 2@大島山林 09:30- 14



- 5/05 ヒラタケ駒打ち@小屋 09:30- 4
- 5/07 フットパスの刈り払い開始と補修 @展望台 09:30 集合 3
- 5/08 薪祭り 3@大島山林 09:30- 14
- 5/12 会員へのお便りを会員全員に発送、道への事業報告も
- 5/14 小屋の階段補修など @09:30- 5
- 5/28 苦東遠足・新緑の苦東遠足=サイン補修と丸ベンチ製作 4
- 6/4 本格的な刈り払いを開始(大島山林→試験地→コミュ→小屋)
- 6/6 ネット小川さんを苦東フットパスに案内



- 6/11 丸ベンチ、階段の完成、更新コミュ&フットパス刈り払い@09:30 小屋 4
- 6/18 刈り払い@大島山林の広場、シンボルツリー周り→苦東遠足@弁天→ハスカップサンクチュアリ踏査&刈り払い 7
- 6/19 小屋のささみちフットパス残り 1
- 6/25 大島山林の広場&小屋周り、刈り払い 2
- 7/02 " 2
- 7/09 大島山林の広場、柏原試験地、小屋周り刈り払い 2
- 7/10 大島山林の広場、柏原フットパス踏査、小

屋周り刈り払い 2

7/16 柏原フットパスの刈り払い 3

7/17 & 18 ハスカップ摘み@会員限定の交流会



7/22 地域ビジネスシーズの検討会一行・視察 6

7/23 柏原フットパスの刈り払いと防腐剤塗り@10:00 3 完成した丸型ベンチ

7/24 ~ ツアーメニュー検討

7/30 植苗病院のフットパス延長 4

8/02 苫東企業懇話会で今年の環境 commons の活動紹介 70 社

8/中 ~ 9/上 フットパスや広場の刈り払い

## 小川巖氏、苫東のフットパスに折り紙 6/6 mon

北海道のフットパスをリードするエコネットワークの小川巖氏一行が、NPOスタッフとともに大島山林の一部、柏原フットパス、ささみちフットパスを歩きました。道内外の国内のフットパスの他、英国やフランス、スペインなどのフットパスも熟知している小川氏が柏原などを実際に歩くのは今回が初めて。小川氏は、林の手入れを先行させ手作りの道づくりによってできている現状を高く評価し、新聞紙上の道内フットパス特集でも紹介したい意向です。

## ベンチそろって森カフェ雰囲気

6/11sat 完成

今、女性雑誌などで静かな人気を呼んでいるのが森カフェ。親しみやすい森の一角に設けられた快適なつろぎ空間です。古民家を利用したり形は様々ですが、その雰囲気はちょうど雑木林ケアセンターのベランダからの風景にそっくりだっ



どうぞ、一度お出かけ下さい

た、との体験から今年は、「北の森カフェ」づくりにトライしてみました。一つは小屋前のテーブルと椅子。これは瞑想テラスの周辺に片づけてあるので、気軽にお茶をしてもらおうというもの

です。ただし、飲み物とランチなどは持参。

もう一つは、小屋裏に設けたコナラの丸型ベンチ。これはコナラの大木を背にして「木になる」ためのもの。是非、お試し下さい。

## ハスカップがサポーター呼んだ!

7/17 sun

会員が集う恒例行事「ハスカップ摘み」が、悩ましい空模様をつた森山林で行われました。昨年の総会で、個人会員と団体会員の他に支援会員(ファンクラブ)を設けたことを受けて、この行事参加を契機にファンクラブ加入を促したところ10名以上が申込み、会員の大幅増になりました。

参加者は、ハスカップにも色々な形と味があることなど、ちょっとした発見もあったようで、来年も是非参加したいという言葉を残して現地をあとにしました。参加者は全部で35名で、半分以上は札幌からでした。

## 苫東立地企業への紹介第2弾 8/2 tue

NPOでは、苫東立地企業の例会でNPOの活動紹介と団体会員としての参加をPRしていますが、今年も柏原のテクノセンターで行われた会合で約15分、事務局が紹介スピーチを行いました。

CSR(企業の社会貢献活動)や生物多様性が取りざたされる昨今、当方の環境保全活動を支援することは、直接的な社会課題に対する応援にあたることを活動のスライドを使い説明。企業側約70社の反応は、厳しい経済情勢を反映してか、積極的なものは特にありませんが、NPOでは色々な機会を利用して企業始め地域社会に向けてこのような働きかけを続けていく考えです。

## 10/22 NPO 総会と環境フォーラム

第2回のNPO総会は10月22日午前11時から苫小牧サンガーデンの研修室で開催します。個人会員で出席できる方は是非ご参加下さい。午後1時半からは同じ場所で環境フォーラムを開催。基調報告のあと、小川巖氏が「フットパス」関連、瀧澤紫織氏が「心身の健康と身近な林」をテーマに講演します。

**編集後記** 暑い夏は終わったようです。NPO活動2シーズン目の夏は新しいシーズンも見え始めました。その一方で、地域への発信力が弱く地域からの反応が鈍いことも改めて認識させられています。でもそれは大丈夫、折込済みです。継続の源は社会からの評価ではなく、わたしたちは自己実現のほうに軸足があります。人やフィールドとのつながり、分かち合い、持ち寄りですら動くことに意味があります。空論を振りかざさず、あくまでローカルに打ち込む。10月、そんなソーシャル・キャピタルの身近な出版が予定されています。(事務局)

お問い合わせ

NPO 法人苫東環境 commons 事務局

草苺 kt-884-556@nifty.com

携帯 090-6999-2765